

本年度社会保険労務士試験

合 格 者 体 験 記

愛知県下各労働基準協会では、社会保険労務士資格の取得と人事労務の幅広い知識の習得を目的とした「受験対策総合講座」を毎年開催しています。

この講座を受講し、第52回社会保険労務士試験を受験、合格率6・4%を突破した合格者3名（当協会確認分）の社会保険労務士を目指した理由、学習方法、今後の抱負などを3回にわたりご紹介していきます。今号はその2回目です。

経験を活かした計画を立てました

西川 重



受験を終えて合格発表までこれほど長く感じた年はありませんでした。

昨年、再チャレンジを決めたのが二月末。コロナ禍の影響で直前講習も受講できない状況のなか、限られた時間でこれまでの経験を活かした計画を立てることができ、過去

問の繰り返しによる回答スピードのアップを図ったことで、前年あったマークミスにおいても見直しの結果につながる事ができました。

この資格をどのように活かしていくかはこれからはとなりますが、これまで少なからず経験させていただいた職業生活のエビデンスとして役立てていけるよう、知識の向上に努めていきたいと思えます。

（会社員・60代）

◆ インターネット開催 ◆ 社会保険労務士受験対策総合講座 講師・合格者・受講生 意見交換会



当協会は、例年立食形式で開催している「社会保険労務士受験対策総合講座 講師・合格者・受講生意見交換会」について、今年度は新型コロナウイルス感染拡大防止を鑑みインターネット開催しました。（写真）

令和3年1月9日より当協会ホームページ上で公開された動画では、講師全員から激励のコメントがあり、また昨年の合格者3名の合格コメントが紹介されました。

乾杯の発声を行った当協会 石田副会長からは「捲土重来」（※）という言葉が紹介され、受講生を激励しました。この意見交換会は受講生以外の方も閲覧可能です。

※捲土重来（けんどうちようらい・けんどうぢゆうらい）Ⅱ一度敗れたものが、再び勢いをもちかえしてくること（『広辞苑第七版』より引用）